

令和 1 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号	79
--------	----

事業区分	一般ソフト事業	事務事業評価の履歴				有
事務事業名	久山町総合戦略策定事業					
予算科目	2	款	1	項	10	目
予算事業名	企画費					
総合計画での位置づけ	効率的で健全な行財政運営の推進					
担当課	魅力づくり推進課	担当課長	川上 克彦			
事業担当者	佐伯 栞		一次評価者	西村 勝		
事業の性格	自治事務					
法令根拠等	まち・ひと・しごと創生法(平成26年法律第136号)第9条及び第10条に基づく					
事業の対象	住民					
事業の目的	2016年3月に策定した第1期久山町「人口ビジョン・総合戦略」の計画期間が終了するにあたり、国の方針に従い、第2期久山町「人口ビジョン・総合戦略」を策定する。急速に進む人口減少に歯止めをかけ、久山町が持続的な発展を目指すために重要な施策を示し、推進していくことを目的とする。また、本戦略を策定することにより、地方創生推進交付金への申請が可能となる。					
	実施期間	開始年度	平成 27 年度から	終了年度	令和 6 年度まで	
事業の内容	第2期久山町「人口ビジョン・総合戦略」では、第1期の検証結果や今後の社会経済の情勢等を踏まえつつ、SDGs(持続可能な開発目標)等の国が重視する新たな視点についても盛り込み策定を進める。					
目的達成の指標	年度末における住民基本台帳の人口					
	区分年度	単位	30 年度	1 年度	2 年度	3年度
	目標	人	8,800	9,000	9,100	9150
	実績	人	8,622	9,047		
指標設定の考え方	総合戦略策定の目的は、施策の遂行により将来人口を確保することである。久山町まち・ひと・しごと総合戦略においては将来展望人口は緩やかに増加を続け、10,000人を目指すこととしている。					
事業遂行時懸案事項等	計画期間の終了を迎えるにあたり、第1期「人口ビジョン・総合戦略」の各施策の進捗状況を把握する必要があるが、管理体制が確立していないことが懸念される。第2期の策定においては、より効果的な戦略とするため、策定時より、今後の進捗管理の体制も踏まえ、進める必要がある。					
事業実施時懸案事項対応等	第1期では全60項目のアクションプラン(以下、「プラン」という。)が掲げられていたが、第2期では経常的なものは継続せず、継続して実施することで成果を向上させる可能性の高いプランを継続することとしている。また、国の新たな視点も加味しながら、庁内ワーキング会議(職員希望者)、庁内戦略推進会議(課長、局長、室長)、外部懇談会議(有識者等)を実施し、協議の上、策定を進める。今後の進捗管理については行政評価等の活用を検討する。					

PLAN(計画)

No.2

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 640 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目	30 年度予算	1 年度予算	2 年度予算	3 年度予算	
事務量	① 人工数	0.39	0.39	0.39	0.39
	② 人件費単価	7,350	7,555	7,137	7,137
	③ 補助事業人件費				
	人件費(①×②-③)	2,866	2,946	2,783	2,783
事業費	直接事業費	1,000	2,788	1,000	1,000
	人件費	2,866	2,946	2,783	2,783
	合計	3,866	5,734	3,783	3,783
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	3,866	5,734	3,783	3,783
合計	3,866	5,734	3,783	3,783	

事業費計画

(千円)

区分/年度	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
目標	1,000	2,788	1,000	1,000	1,000
実績	0	2,593			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度
アクションプラン進捗平均値	%		策定年度	30	50

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 633 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目	30 年度決算	1 年度予算	1 年度決算	
事務量	① 人工数	0.39	0.39	0.39
	② 人件費単価	7,187	7,555	7,891
	③ 補助事業人件費			0
	人件費(①×②-③)	2,802	2,946	3,077
事業費	直接事業費	0	2,788	2,593
	人件費	2,802	2,946	3,077
	合計	2,802	5,734	5,670
財源内訳	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	0	0	
	一般財源	2,802	5,734	5,670
合計	2,802	5,734	5,670	

実施備忘録

CHECK(評価)

No.3

自己評価	評価者	佐伯 菜
------	-----	------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ← 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	3	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	3	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input checked="" type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	5	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	3	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	B
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	3	C
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	3	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	3	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	5	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input checked="" type="checkbox"/> B現状のまま維持	<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> C見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> D廃止	<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> E事業完了	<input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

本事業は2016年(平成27年)度から始まり、急速に進む人口減少に歯止めをかけるとともに、東京一極集中等を緩和するため、国をはじめ、全国の地方自治体で推進しているものである。
本町では、第1期の計画策定当初の人口(8,448人)より増加傾向が続いているが、人口減少に起因する、労働力の確保や地域のコミュニティ維持、空き家の増加等、様々な問題が表面化しつつあるため、計画の必要性は高いが、策定することで住民のニーズが満たされるということではない。
そのため、庁内はもちろん、町民の方や関係事業者等、多くの方に共感してもらいながら、戦略を推進していくことで本事業の有用性を高める必要がある。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

総合戦略の策定後は主にアクションプランの各事業を推進する段階に入るが、策定した施策を遂行するにあたり、定期的に進捗管理を行う体制等を構築する必要がある。行政評価等の活用も視野に入れ、検討する。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価	評価者	西村 勝
------	-----	------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

項目	評点	判定
1. そもそも必要な事業か？		
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input checked="" type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	5	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	3	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	A
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	4	B
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	4	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input checked="" type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了

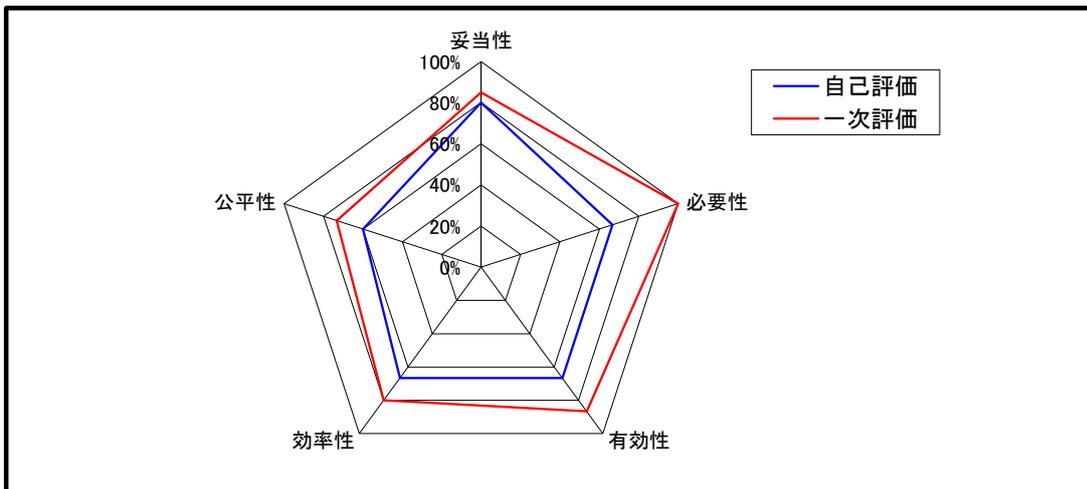
見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他



一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

第1期の総合戦略については、計画期間内における進捗管理が定期的に行う事ができていなかった。第2期については、毎年度の進捗状況の把握及び見直しを行い、実効性が高く、効果的な事業については、優先的に行なっていく事が重要である。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

二次評価 評価者 川上 克彦

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

進捗管理を確実にを行う体制を構築すること。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、
月 日
までに事務局へ提出すること。



- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。
月 日
開催予定



- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.6

外部評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

外部評価委員の意見

--

経営者会議

経営者評価	
-------	--

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

経営者会議の評価

--

令和 3 年度予算要求事項(今後の取り組み)

--